

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	陽光ホーム	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人育桜福祉会 ・代表者名 生亀 洋子 ・住所 川崎市中原区西加瀬10番3号	評価者	障害計画課長
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	共同生活援助・共同生活介護（定員 16名）在籍者 16名（平成26年3月31日現在） 地域生活体験事業（定員 1日2名）延利用日数 170日																																										
収支実績	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> <th>収支差額</th> </tr> <tr> <td>経常活動</td> <td>78,665,724円</td> <td>経常活動</td> <td>62,575,543円</td> <td>9,376,111円</td> </tr> <tr> <td>自立支援費等</td> <td>28,677,848円</td> <td>人件費</td> <td>51,420,061円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特定費用収入</td> <td>8,444,214円</td> <td>事務費等</td> <td>3,194,447円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>27,492,594円</td> <td>事業費</td> <td>7,961,035円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>川崎市独自扶助</td> <td>11,069,530円</td> <td>施設整備等</td> <td>133,570円</td> <td>※指定管理料</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2,981,538円</td> <td>財務活動</td> <td>6,580,500円</td> <td>27,492,594円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>78,665,724円</td> <td>合計</td> <td>69,289,613円</td> <td></td> </tr> </table>	収入		支出		収支差額	経常活動	78,665,724円	経常活動	62,575,543円	9,376,111円	自立支援費等	28,677,848円	人件費	51,420,061円		特定費用収入	8,444,214円	事務費等	3,194,447円		指定管理料	27,492,594円	事業費	7,961,035円		川崎市独自扶助	11,069,530円	施設整備等	133,570円	※指定管理料	その他	2,981,538円	財務活動	6,580,500円	27,492,594円	合計	78,665,724円	合計	69,289,613円			
収入		支出		収支差額																																							
経常活動	78,665,724円	経常活動	62,575,543円	9,376,111円																																							
自立支援費等	28,677,848円	人件費	51,420,061円																																								
特定費用収入	8,444,214円	事務費等	3,194,447円																																								
指定管理料	27,492,594円	事業費	7,961,035円																																								
川崎市独自扶助	11,069,530円	施設整備等	133,570円	※指定管理料																																							
その他	2,981,538円	財務活動	6,580,500円	27,492,594円																																							
合計	78,665,724円	合計	69,289,613円																																								
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で暮らすために必要な社会生活力の向上を目指した支援を行った結果、利用者は将来の地域生活を考えることができるようになり、本年度も2名が地域のグループホームに移行した。</li> <li>・災害時に加え、桜の風等の井田地区の他の施設と地域移行を目指す利用者の受入れ等を通じて積極的に連携している。</li> <li>・地域生活体験事業としては、グループホームの体験的利用を通じ、地域生活移行に向けた支援の一つとして大きな役割を果たしている。</li> </ul>																																										

3. 評価（評価段階:5～1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・関係機関と連携し、利用者の個別のニーズに合わせ、時間をかけて丁寧にコミュニケーションを取り、利用者に対する支援を着実に実施している。 ・昨年に引き続いて、利用者2名が地域のグループホームに移行し、他の利用者も将来の自身の地域での生活をイメージできるようになり地域のグループホームへの移行を目指すようになった。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	4	4
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
(評価の理由) ・指定管理料と給付費等により安定した収入が確保されており、また、予算に沿った支出がなされ、経営状態は良好な状況となっている。 ・法人内部事務局で確認するチェック体制を整えるとともに、公認会計士による監査を実施し第三者によるチェック体制を整えており、適正な会計処理のための体制が充実している。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	3	3
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) ・利用者一人一人が希望する生活を送れるように、利用者と直接関わる世話人も個別支援会議に参加し、個々の状況や希望に合わせた個別支援計画を作成している。また、支援計画以外の内容についても必要な支援を適時かつ十分に実施している。 ・利用者とは月1回の面談を行い、利用者の障害特性や個性に合わせて情報提供方法を工夫するなど、「意見・要望」の把握に努めている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) ・「危機管理マニュアル」等に基づき運営され、より現実に即した動きが取れるよう各種マニュアルの見直しを行っている。 ・近隣施設との災害時の連携のため、井田地区の他の施設と協定を締結し、緊急時の協力体制等について年3回会議が開催されている。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) ・各種保守、点検等について、適切に実施されている。 ・安全安心に活動できるように環境整備と併せて日常的に事業所内外の整理整頓を心掛けるとともに、危険物の保管場所を限定する等の工夫により適切に備品・消耗品の管理を行っている。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準::C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満  
 A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・利用者が将来の地域生活を考えられるように、地域の中で生活するための必要な技術と能力を養うことを目的として、利用者の障害特性やニーズに合わせて丁寧な支援を行っている。
- ・利用者が将来の地域で暮らせる社会生活力を身に付けるため、工夫された質の高い支援している。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・入所施設とグループホームをつなぐ中間施設として、引き続き桜の風等の市内入所施設と連携し、地域移行をめざす利用者の積極的な受入れ及び地域のグループホームへの移行実績の向上に努めること。
- ・長期入院者等がグループホームでの地域生活を体験できるように、地域生活体験事業を活用すること。